

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立美原北小学校
校長 北林 康男

中学校区におけるめざす子ども像

仲間とともに学びに向かえる子

令和6年度 重点目標

『自立・自律した子の育成』

- ・子どもが自ら考え、学びを深め合う授業づくり～対話を通した学び合い～
- ・人とつながる優しい北っ子を育てよう
- ・運動を楽しむことができる児童を育てよう

「確かな学び」の現状

- ・自分の考えを書くことができる児童が多く、授業の際や自主学習などでは積極的に取り組むようになっている。その考えた内容を自分の言葉でペア・班活動の中で伝えることができるようになっている。話し合い活動の中で自分の意見を伝えるだけでなく、他者の意見に対して聞こうとする姿勢も見られている。また、めあてを意識して学習活動・ふりかえりを書くことができている。
- ・一方基礎学力の定着に時間がかかる児童が多い。また、話し合い活動では、自分の書いたものを話すだけで終わっている児童も多い。受け答えや他者の意見から違う意見を考えたり、その発言に対しての自分の考えを伝えたりすることなどはできていない児童が多いので、今後の取組が必要である。

「豊かな心・健やかな体」の現状

- ・人との関わりに対する意欲や意識の向上がみられた。また、学級一学年一他学年と、児童の視野も広がりつつある。特活や道徳等の授業とのリンクも意識して行うことができている。一方、他学年との交流が希薄なところもあり、機会を確保していく必要がある。児童の自立に向けて児童の主体的な活動を支えるアプローチを指導者が行っていく必要がある。
- ・体育アンケートの結果から、体育の授業や運動が好きという児童は多いが、一昨年度に比べると減少していることが分かった。安全面においては、体育の時間中に起きた怪我が多かったので、今まで以上に安全面の指導が必要である。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況（年度末）	
								自己評価	学校関係者評価
授業改善		<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども自ら考え、学びを深めあう授業作り」をめざす。 ・基礎学力を定着させるため教師の指導力向上をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメント表を作成し、各学年国語科・算数科に重点を置き、実践する。 ・各教科の学習から表現力を向上させるために「対話」を通した取組を行う。 ●ふりかえりの質の向上をめざす。 ●わかりやすい板書づくりに取り組む。 ●話し合い活動の方法を精査していく。 ★ペアやグループ学習を通して、他者と学びあう授業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業・公開授業 	状態について協議	毎学期	<input type="radio"/> 新しいカリキュラムマネジメント表を確認しながら、各学年、夏季研修や研究授業の準備などで授業改善を計画的に行っている。研究授業の授業者以外の教員も公開授業を計画的に行っている。		
								<input type="radio"/> 自分の考えを文章で表すことや、目的に合わせてペアやグループなど形を変えて表現活動を行っている。また、ふりかえりを書きやすくなるように書き出しの例を用意するなど取り組みやすいよう配慮している。 学期末にアンケートの予定。	
確かな学び	学習内容の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに対する「自分の考えを書く」活動を行い、言語化して表現する。 ・場面に合わせた話し合い活動やつぶやき欄等を活用し、考え方を表現する手立てとする。 ★考え方をまとめ、交流し伝えあい、協同的・探究的に学びを深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに対する「自分の考え方を書く」活動を行い、「自分の考え方を書く」表現活動 ・児童アンケートの考え方のつぶやき欄についての項目で、肯定的意見が8割 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究授業・児童のノートの見取りり ・児童アンケート 	状態についての協議 児童アンケート	毎学期 年度末	<input type="radio"/> 児童が自分の考え方に対し、理由やつぶやき欄を書くとともに、自分の意見を伝えるだけでなく、他の児童の考え方を聞く機会を増やし、他者の考え方を受け入れる活動も増えている。自分の考え方を書く活動についてのアンケートを学期末に行う予定。		
								<input type="radio"/> 他学年の自主学習や教科の授業のノートを各クラス2人ずつ定期的に掲示している。様々なノートを見る機会を得ることで、苦手な児童は書き方を学び、得意な児童は掲載されるようにより一生懸命に取り組む姿勢が見られている。	

豊かな心健やかな体	あたたかい集団づくり	<p>「人とつながる優しい北っ子を育てる」 ・「優しい言葉遣い・優しい行動・ほめる活動」を増やす。 ※いじめ予防・防止の視点を含む</p> <p>・人との関わり・交流機会を設定する。</p> <p>・子ども主体の活動を促進する。</p>	●「やさしさみつけ月間」を学期に1回行い、啓発運動・促進を図る。 (1年間掲示して、目に見える形として残す) ・児童会役員の放送などを通して、やさしさみつけのメッセージの内容の質の向上を図る。 (行動に対しての思いや感情を表現する) ・他クラスのやさしさの木をみにいく時間の設定。	・児童の様子の見取り ・児童会アンケートの実施 「やさしさをみつけることができたか」	状態について協議 児童会アンケート	年度末	○	やさしさみつけ月間を行うことによって、児童は他の児童のやさしさに目を向けている様子がみえる。 児童会役員の放送などを通して、やさしさみつけのメッセージの内容の質の向上を図っている。		
			・北っ子活動・ペア学年交流など、学年をこえたたてわり活動を多く実践し、全校児童の関わりの機会を増やす。	・児童の様子の見取り ・児童会アンケートの実施 「児童会目標を達成できたか」「他学年とつながることができたか」「活動の達成感」「活動への所属感」肯定的意見が9割以上	状態について協議 児童会アンケート	年度末	○	北っ子活動では、大縄大会を実施し、それに伴い休み時間にも練習を行うなど昨年度より学年をこえた活動が増えている。また、他学年との交流活動も各学年で年間を見通して計画的に行っている。		
			・委員会での常時活動を実施し、5、6年生が学校運営の役割を担い、自立できる活動を増やす。	・委員会活動での児童の日々の様子	状態について協議	年度末	○	今まで常時活動の少なかった委員会も、常時活動を行い、学校運営に携わっている。また、学校の実情に合わせた委員会が発足したこと、子どもたち自身で学校のために主体的に活動する姿がみえる。		
心身の健康の促進	心身の健康の促進	<p>・運動を楽しむことができる児童を育てる。</p> <p>・心身の健やかな成長を促進する。</p> <p>・多様な運動に触れ合う機会の増加のために、体力向上週間や教具の積極的な活用に取り組む。</p> <p>・栄養教諭による食育・栄養指導をおこなう。</p> <p>・「家の7つの約束」の再啓発による規律ある生活習慣の確立をめざす。</p>	●楽しい体育授業の実施のために、各領域について、主運動につながる運動資料を作成し楽しい体育授業をめざす。	・体力テスト ・児童の日々の様子 ・生活アンケート 肯定的意見の増加	体力テストの記録比較 状態について協議	年度末	○	体育委員会を中心に、鉄棒bingoやおにごっこなどを通して、他学年との交流を積極的に取り入れることができた。 体育授業に取り組むうえで、体育館側面に掲示物を準備し、いつでも活用できるようにしている。 体育のアンケート、もしくはスポーツテストの結果から、児童の体育や運動への意識、体力向上のデータをみると予定。		
			・栄養教諭による食育・栄養指導をおこなう。	・児童の日常の様子 ・病院搬送件数の確認 ・生活アンケートの実施	状態について協議 病院搬送件数の前年度比較 生活アンケートの比較	年度末	○	・栄養教諭による食育の指導については、食育の年間計画に沿って、「家の7つの約束」との関連をふまえて、実行することが出来ている。 ・生活アンケートについては、今年度は1学期に実施し、児童の実態把握に活用することができた。		
子ども理解	特別支援	<p>・個に応じた支援体制づくりを行う。</p> <p>・子ども相談委員会（校内委員会）を開催し、通常の学級や通級指導教室、支援学級、家庭での支援方針や支援方法、役割分担について、検討を行う。</p>	・通常の学級、通級指導教室、支援学級が連携した組織的な指導体制の充実をはかる。	・指導体制の連携確認	状態についての協議	年度末	○	担当者間で必要に応じて、連絡・相談の機会を設けている。また児童や保護者への対応も複数の職員で対応するよう努めている。		
			・児童に対しての効果的な支援	状態についての協議	年度末	○	全職員が集まる機会に、子ども相談委員会を行い、支援を要する児童を中心に共通理解を図っている。教育相談が17件あり、どのような支援が必要なのか検討しながら進めている。			

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）